

Passport

女と男の豊かな生き方を探る情報紙

パスポート



INDEX

- **すてきな生き方** イラストレーター 倉部 今日子 さん
写真家 渡会 審二 さん ご夫妻
- **特集** 豊かな知識と経験で鎌倉の魅力を伝えます
鎌倉のおもてなし NPO法人鎌倉ガイド協会
- **information** 鎌倉市女性相談のご案内 ほか

Vol. 45

2014 鎌倉市



すてきな生き方

イラストレーター 倉部 今日子 さん
写真家 渡会 審二 さん ご夫妻

(稲村ガ崎在住)

海とともにある暮らしから生まれる作品



江ノ電の線路を渡って急な階段を上ると、遮るものなく水平線が広がる高台におふたりのお住まいとアトリエがあります。結婚後1年ほど海外を旅して、住まいや暮らしについて

を深く知ることのきっかけになったり、直接的ではなくとも創作のよい刺激になっているようです。

鎌倉に越した頃から銅版画を始め、個展も開いてきた倉部さんですが、ずっと自分が書いた物語で絵本を作りたい強い気持ちがあったそうです。はじめての絵本「ヤドカリだんちのなみでんしゃ」は「うみまち」鎌倉だからこそ生まれた作品。

「きっかけは娘が通っていた幼稚園の行事『大潮遠足』。海の水が引く大潮の日、園から5分の浜にお母さんたちも一緒に出かけて、潮だまりの海の生き物で遊んだ体験が印象深かったからです。」

その娘さんもいまは美大生。話をすると、ものを作る側の視点で自然に3人一致するところが多くなるとか。

別姓で仕事を続けているように、「夫婦はこうあるべきという型にはまったイメージや、男と女の役割とか全く考えていません。家族それぞれが自分の好きなことをやっていて、意識的に協力することなんてないのだけれど互いに認め合っていて、自分を一番理解してくれると思っている」と、まさに素敵な生き方のおふたりでした。

考えさせられた時期に縁あって鎌倉に越し、扇ガ谷、極楽寺を経て出会ったこの地。当時は茂った竹やぶで海の眺望もなく、今とは全く違う景観だったとか。でも、ほかにはないこの眺めを生かして自分たちらしいアート空間を創出しようという共通の夢の実現に取り組んだのです。さまざまな問題を乗り越えて家づくりが始まり、渡会さんは大工さんに加わって作業し、倉部さんも一緒に一年がかりで母屋隣にアトリエを手作りしていきました。

毎日デザイン広告賞最高賞をはじめ数々の賞を受賞している写真家の渡会さんですが、「その時期はカメラマンより大工さんが本業みたいでしたよ」と笑う倉部さん。

2005年に「アトリエ水平線」として完成し、「極楽寺・稲村ガ崎アートフェスティバル」への参加や年に1、2回のオープンハウスも続けてきました(★)。ここでのイベントから新たな地域交流が生まれたり、鎌倉の様々な歴史



(左)渡会さん、倉部さんの作品が壁を飾るアトリエ (右)「ヤドカリだんちのなみでんしゃ」(こどものとも2013年8月号)/福音館書店
写真すべて/アトリエ水平線

★渡会さんの写真展が9月20～28日に雪ノ下のギャラリーBで開催されます。
ギャラリーBのHP / galleryb.jp/
★アトリエ水平線は10月4日～13日まで、カフェとして開放されます。
詳しくはHPで / www.suiheisen.biz



特集

豊かな知識と経験で鎌倉の魅力を伝えます。

鎌倉のおもてなし NPO法人鎌倉ガイド協会



自分たちが持つ知識や技術を地域社会に役立てたい。

鎌倉には、そんな思いから、自主的な社会貢献活動が続いている方が多くいらっしゃいます。

今回は、ガイド活動により、鎌倉の魅力を伝えているNPO法人鎌倉ガイド協会の活動をご紹介します。

シニア世代が多いという鎌倉ガイド協会のガイドさんたち。豊かな知識と社会経験を生かして、いきいきと活動されています。

ガイド協会のあゆみ

平成2年9月、鎌倉市が高齢者のシルバーガイド養成のための講座を開講、翌平成3年4月、養成講座修了者31名で鎌倉シルバー・ボランティアガイド協会を鎌倉老人福祉センター(現:鎌倉市教養センター)内に自主設立したのが始まりです。

その後実績を積み重ね、2期生、3期生…と人数も増え、平成21年1月に特定非営利活動法人(NPO法人)鎌倉ガイド協会として生まれ変わりました。平成26年6月現在、9期生までが入会し、111名が在籍しています。

会の目的は「地域の魅力」を伝えること

鎌倉ガイド協会の前身である鎌倉シルバー・ボランティアガイド協会は、「せっかく鎌倉のことを勉強したのだから地域に役立てたい」との思いで自主的に設立されたもので、その精神はNPO法人となった今も変わりません。会の目的は、鎌倉や鎌倉周辺を訪れる人々や在住者に史跡・文化財を案内、解説することにより、地域の魅力を伝え、文化の普及、社会教育、まちづくりの推進に寄与することです。

その目的のための中心となっている活動は「古都史跡巡り」で、季節に合わせた定例のA・Bコース、特別テーマによるCコース、会員制のDコースがあります。例えばある月はA:「扇ヶ谷に萩咲く古刹を訪ねー栄西禅師八百年遠忌の壽福寺で仏殿拝観」B:「初秋の風をうけ古道・大町大路を歩くー延命寺・補



やまとたけるのみこと・おとたちはなひのみこと

陀洛寺の寺宝を特別拝観」C:「日本武尊・弟橘媛命伝説の地・走り水から観音崎を巡る」など、思わず出かけたくなる魅力的なコースが用意されています。会員制コースは実施4年目で、年間を通したテーマで企画を組み会員を募っています。どれもガイド協会の会員が自ら企画した独自のコースです。

その他、個人や旅行社の依頼を受けてのガイド、鎌倉市内外への講師派遣なども行っています。

最近多いのは小・中学生の校外学習ガイドで、平成25年だけでも110校の小中学生たちを鎌倉に迎えました。鎌倉市内や県内の学校の他、静岡県、関東甲信越各県など近隣の県を中心に東北や関西の学校などからも依頼があります。春5・6月、秋10・11月がシーズンで、多い時は1日に80人ものガイドが出動していることもあるそうです。

鎌倉ガイド協会では、これらの企画、広報、研修(新人研修も含む)などの運営を全て自分たちで行っています。



ガイドになるには？ガイドになったら？

★ガイドになるまで

年齢や在住地域の制限は無く、誰でも応募できます。3年に1回くらい、1月頃募集があり、作文と面接で合格すると4月から座学と現地での研修を毎週1回受け、12月頃に筆記と面接の卒業試験、1月～3月各班に所属して先輩と一緒に回ったりするトレーニング期間を経て、4月からようやく独り立ちできます。新人研修はほぼ1年かかるということになります。

★ガイドになった後の活動は？

5つの班に分かれて、毎月順番に史跡巡りコースを担当します。ほぼ全員が毎月1回はなんらかのガイド活動をしています。実際のガイド活動の他にも、コースの下見に行ったり、定期研修、自主研修、勉強会など研鑽を積んだり、頻繁に活動しています。



★ガイドさんはどんな方たち？

平成25年5月から会長をお務めの松本隆さん(6期生・平成17年入会)と、副会長の内田洋子さん(7期生・平成20年入会)にお話を伺いました。

現会員111名のうち男性88名(79%)、女性23名(21%)、年齢は40歳～87歳まで幅広く、多くは鎌倉在住です。NPO法人になって年齢制限が無くなったとはいえ、シニア世代の方が多いです。皆さん鎌倉のことを何でもよくご存じで、鎌倉中を歩き回り、寺社の石段も軽々と上って行きます。頭も体力も使うのでシニアにとっては自分のためにもなるとおっしゃいます。

ガイドになる前の職業は商社マン、教師など様々ですが、皆さんこれまで培ってきたものをガイドにも生かしているそうです。また、今まで知りあう機会が無かった分野の人たちが交流できる場ともなっています。

Q.ガイドをやろうと思った理由は？

松本さん「私は鎌倉在住40年、ドイツ・ロンドン・シンガポール・インドネシアなど海外駐在経験も通算して12～3年あります。海外では日本からの自社の社員やお客様を案内するのも業務のうちでしたから、本来の仕事半分・ガイド半分の生活でした。63歳で退職した頃鎌倉は世界遺産登録に向けての活動が盛り上がっていましたし、自分の経験が生かせるのではないかと思いました。」

内田さん「私は関西出身で結婚してから鎌倉に在住、やはり40年以上になります。ところが自分の住んでいる辺り以外はわかりませんでした。もともと歴史が好きだし、子育ても終わっていましたので、鎌倉のことを知りたいと思い応募しました。」

Q.ガイドとして気をつけていることはありますか？

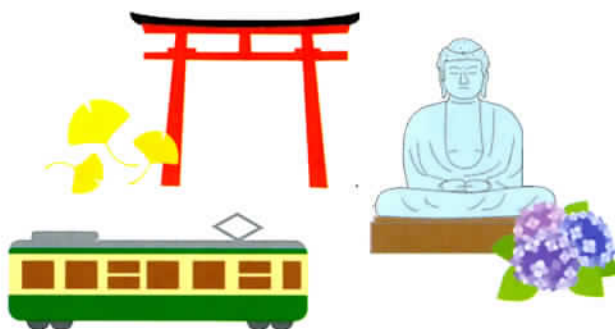
松本さん「寺社にお参りするわけですから、安全とマナーを守るという点でガイドの責任は大きいです。新人への研修でもこのことを教えています。お客様には、特に子供たちには鎌倉の良い思い出を持って帰ってほしいと思ってガイドしています。」

Q.ガイドをしていて男性・女性で違うと感じることはありますか？

内田さん「男性の知識の深さや熱い思いに押され気味ですが(笑)お客様は女性が多いので、柔らかい語り口、気遣いを心掛けています。友達のような関係になれることもありますよ。」

* * *

男性、女性それぞれの長所を發揮しながら鎌倉の魅力を市内外に伝えているガイドさんたちは、鎌倉の草の根親善大使といえる存在です。これからもお元気で活躍していただきたいと思いました。





男女共同参画セミナー 「親子で学ぶ戦争体験」を開催しました

7月26日、鎌倉市とかまくら男女共同参画市民ネットワーク「アンサンブル21」の共催による男女共同参画セミナーが開催されました。

国民学校在学中に戦争を体験した沖田俊昭さん（鎌倉市老人クラブ連合会副会長）が、当時の学校の様子、空襲警報のサイレンの音、空が真っ赤に燃えて見えた横浜空襲のことなど、自身の戦争体験について次世代を担う子どもたちに語りかけました。

また、当時の歌がハープで演奏され、参加者がひとつとなり、一緒に歌う場面もありました。

「戦争中だからこそ、人びとは助け合いお互いを思いあつて懸命に生きました。そんな心は男女共同参画社会を实

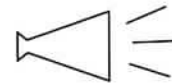
現するのにも大事なことです。」という現代を生きる私たちへのメッセージもいただきました。

戦争は二度としてはいけない、平和は大切なこと、と心に響いたセミナーでした。



Information

インフォメーション



ひとりで悩んでいませんか

鎌倉市女性相談のご案内



夫婦、家族関係、セクシュアル・ハラスメント、女性に対する暴力など、お気軽にご相談ください。専門の女性相談員が、問題解決に向けてあなたと一緒に考え、気持ちの整理のお手伝いをします。

相談は無料です。秘密は守ります。

【鎌倉市女性相談（電話・面接）】

☎ 0467 (23) 9311

月～金曜日（祝日・年末年始を除く）

10時～13時／14時～16時30分 面接は予約制です

募集!

あなたも「アンサンブル21」の活動に参加してみませんか!

アンサンブル21は、男女共同参画社会の実現のために、行政と市民がともに考え行動する組織として設置された市民ネットワークです。

アンサンブル21では、一緒に活動に参加していただける会員を募集中です。

活動内容

- ・フォーラムやセミナー等、啓発イベントの企画・開催
- ・情報紙「パスポート」の企画・取材・原稿作成

お問い合わせ：鎌倉市文化人権推進課

☎ 0467(61)3870

カトレヤビル



4F	カルチャー教室 23-2530
	ヤマハ音楽教室
3F	ヤマハ音楽教室 23-2354
	本多個人教室 25-0579
2F	貸ギャラリー
	レンタルスペース
	サロンドK (美容室) 24-0013
	鎌倉館 (喫茶専門店) 22-3303
	ファミリア (子供服) 24-1800
1F	Re.Ra.Ku 81-5664
	(リラクゼーション)
B1	魚民 (居酒屋) 24-9588

Tel. 0467-23-2530 鎌倉市小町 1-5-27

カトレヤビル

検索

男女共同参画情報紙「パスポート」に 広告を掲載しませんか?

広告掲載に関する問い合わせ先：
鎌倉市役所文化人権推進課
TEL0467-61-3870